

# 救急搬送における選定療養費の取扱いに係る統一的なガイドライン

令和7月12月作成（茨城県のものを作成）

令和8年3月一部修正（3病院の意見を反映）

## 1 基本的な考え方

- 一般病床数 200 床以上の病院が徴収する選定療養費は、診療報酬制度上、「救急の患者」からは徴収してはならないとされているが、この「救急の患者」に該当するか否かは、厚生労働省が疑義解釈として以下のとおり示している。
  - ① 原則として、医療機関の個別判断となること
  - ② 少なくとも単に軽症の患者が救急車により来院し受診した場合は、これに該当しないこと
  
- 個々のケースにおける「救急の患者」の判断は医療機関が行うことになるが、当ガイドラインは、患者の公平性を確保するとともに、医療機関間の判断に大きな差異が生じないようにする観点から、医師が緊急性を評価する際の一定の目安を各医療機関において共有するために策定するものとする。

## 2 緊急性の評価の区分

- 初療時に、「救急車要請時の緊急性が認められる」、「救急車要請時の緊急性が認められない」のいずれかを、医師が医学的見地から評価する。

## 3 緊急性の評価の目安

### (1) 救急車要請時の緊急性があると判断される可能性が高い主な事例

救急車要請時に下記具体例のような症状があった場合は緊急性が認められるものとし、例えば、熱中症、小児の熱性痙攣、てんかん発作等のように、救急搬送後の診断時には症状が改善していたような場合であっても、救急車を要請した時点での緊急性は認められるものとする。

なお、公的な第三者機関（#7119、#8000、学校、警察等）が救急車要請を行った場合（指示、助言等を含む）は、最大限考慮の上、緊急性を判断する。（原則として選定療養費を徴収しない。）

救急車要請時の緊急性があると判断される可能性が高い主な事例  
<具体例>（総務省消防庁「ためらわず救急車を呼んでほしい症状」等）

### 15 歳以上

- ① 物を喉に詰まらせて、呼吸が苦しい

- ② 急な息切れ、呼吸困難
- ③ 顔色が明らかに悪い
- ④ 急に便に血が混ざりだした、急に真っ黒い便が出た
- ⑤ 意識の障害（返事が無い、様子がおかしい、朦朧としている）

- ⑥ 痙攣が止まらない
- ⑦ 支え無しで立てないぐらい急にふらつく
- ⑧ 突然、周りが二重に見える
- ⑨ 呂律が回りにくく、うまく話せない
- ⑩ 顔半分が動きにくい
- ⑪ 突然の顔や手足のしびれ
- ⑫ 大量の出血を伴う怪我
- ⑬ 広範囲の火傷
- ⑭ 虫に刺されて全身に蕁麻疹が出て、顔色が悪い
- ⑮ 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた
- ⑯ 血を吐く
- ⑰ 突然の高熱
- ⑱ 突然の激しい頭痛
- ⑲ 胸や背中の中の突然の激痛
- ⑳ 突然の激しい腹痛

### 15 歳未満

- ① 物を喉に詰まらせて、呼吸が苦しい
- ② 呼吸が速い、陥没呼吸がある、喘鳴がある、呼吸が苦しそう
- ③ 15 秒以上の無呼吸がある
- ④ 唇の色が紫、顔色が蒼白
- ⑤ 全身が青くなっている
- ⑥ 頭部を強くぶつけて、出血が止まらない、嘔吐がある、顔色が悪い
- ⑦ 急に便に血が混ざりだした、急に真っ黒い便が出た
- ⑧ 意識の障害（返事が無い、様子がおかしい、朦朧としている）
- ⑨ 痙攣が止まらない、一度止まっても 24 時間以内に 2 回以上繰り返す
- ⑩ 手足が硬直している
- ⑪ 刺激しても反応が鈍い、眠ってばかりいる
- ⑫ 意味不明の言動がある、異様に興奮している
- ⑬ 大量の出血を伴う怪我
- ⑭ 広範囲の火傷
- ⑮ 虫に刺されて全身に蕁麻疹が出て、顔色が悪い
- ⑯ 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた
- ⑰ 突然の激しい腹痛

- ⑱ 頻回の嘔吐
- ⑲ 保護者から見て、いつもと違う、様子がおかしい

## (2) 救急車要請時の緊急性が認められない可能性がある主な事例

明らかに救急車を要請するほどの緊急性ではない症状に限るものとし、下記アについては緊急性が認められないものとする。

下記イについては緊急性が低いことから、基本的に緊急性が認められないものとするが、診断の結果、別の疾患の兆候である可能性を否定できず、評価が難しいケースや判断に迷うケースである場合は、緊急性が認められるものとして差し支えないものとする。

### 救急車要請時の緊急性が認められない可能性がある主な事例 <具体例>

#### ア 明らかに緊急性が認められない症状

- ① 軽度の切り傷のみ
- ② 軽度の擦過傷のみ

#### イ 緊急性が低い症状 ※ただし、別の疾患の兆候である可能性あり

- ① 微熱（37.4℃以下）のみ
- ② 虫刺創部の発赤、痛みのみで、全身のショック症状は無い
- ③ 風邪の症状のみ
- ④ 打撲のみ
- ⑤ 慢性的又は数日前からの歯痛
- ⑥ 慢性的又は数日前からの腰痛
- ⑦ 便秘のみ
- ⑧ 何日も前から症状が続いていて特に悪化したわけではない
- ⑨ 不定愁訴のみ
- ⑩ 眠れないのみ